

萩ジオパーク推進協だより

2017年11月24日 No. 33

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会
事務局：萩市ジオパーク推進課
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

萩ジオパーク構想推進協議会 臨時総会(11/27: 月)に向けて

11月27日(月)午前10時から萩市役所大会議室において、萩ジオパーク構想推進協議会臨時総会が開催されます。今回の議案は3つ、中でも萩ジオパーク構想基本計画・実行計画の策定についての議論が中心となります。

前回の申請時には、住民主体のジオパーク活動はあるものの、萩ジオパーク構想地域は、ジオパークとして何を狙っているのかが明確でなく、持続可能なジオパークの運営体制が確立されていませんでした。阿武町及び山口市阿東地域においてもジオパーク活動を推進することとなり、来年度の申請を目指す今、改めて、萩ジオパーク構想の将来像と活動の目標を掲げ、地域の皆さんとの共通理解とするために、「基本計画・実行計画」を策定するものです。

地域会議で上がってきた地域の課題や各部会で協議した内容を踏まえた、萩ジオパーク構想で描く将来像とそれに向けての活動の目標を明示した基本計画、その実現のための実行計画は、総会を経て、皆さんにお示しします。

(事務局長：福島康行)

推進協議会事務局の新顔紹介

皆さん、はじめまして！ この10月1日付けで、萩ジオパーク構想推進協議会の事務局員となりました中村浩二と申します。前任の景由さんの志を引継ぎ、萩をホンモノのジオパークにするためにやってきました～！（と、威勢の良いこと言っちゃいます。）

昭和51年、萩の玉江浦の生まれ。厄年です（笑）。生粋の萩の人間です。私のこれまでの職歴を遡ると文化財保護課、観光課、まちじゅう博物館推進課…。「う～ん近からず、遠からず、…」というところを経験してきました。

あと、実を言うと、大学時代は自然地理学ゼミに所属し、卒論のテーマは「地すべり」という、とってもジオ的な人生を送ってきました。

(20年も前なのでもう忘れましたが…)

協議会に来て、早速「萩ジオパーク構想推進協議会基本計画・実行計画」をつくっています。事務局内では、日頃から「この町の目指すべき将来像は？」、今後の協議会のあり方、地域の声を反映させる仕組み、どうしたら地域住民一人ひとりにジオパークの取組みを知ってもらい、それを地域住民の活動にできるのか、といったことを真剣に議論し考えています。

最後に、事務局員になって自分が感じたことですが、皆さん、決して「ジオパーク」に期待してはいけませんよ！ 「ジオパークの取組み」に期待してくださいね！ もちろん取組みの主体は皆さんですよ！ 一緒に楽しくやりましょう！



〔報告〕 萩市ジオマスター講座 テーマ「大地と人とのつながりを楽しもう。」

9月から始まった「萩ジオマスター講座」は「大地と人とのつながりを楽しもう。」をテーマにしています。11月に入り、これまで学んできた萩の大地の成り立ちと、萩らしい人の暮らしとの関係をより深く知ることができる講座が始まりました。

11月5日(日)は、必修講座⑤「萩の大地の成り立ち IV～阿武火山群その1～」と題し、萩の人の暮らしと最も密接に関わっている阿武火山群について学びました。講師は佐賀大学から阿武火山群も研究されている角縁進(かくぶちすすむ)教授でした。明倫学舎で講演を聴いた後、場所を笠山に移して野外観察をしました。足場の悪い場所もありましたが、先生の解説を聞きながら歩くと、笠山が溶岩を流した後にしぶきを上げて噴火したという荒々しい光景が思い浮かびました。



〔笠山で溶岩の流れを体感〕

11月18日(土)には選択講座②、「萩焼はなぜ美しい」というテーマで、萩焼の始まりの地である坂高麗左衛門窯を訪れました。お茶とお菓子をいただいて実際に萩焼の良さを味わったのちに、約400年前からの代々の当主の作品を鑑賞し、その歴史と魅力の深さを体感しました。ご対応いただいた坂悠太さんからは萩焼の歴史や特徴などをお聞きし、窯などの製作現場をご案内いただきました。萩焼は1億年前のマグマの岩石が風化した土と、見島の溶岩が風化した土が特有の風合いを生み出し、阿武火山群や青野山火山群によって繁栄した萩城下町があったことが、そもそものつくられるきっかけになったという、萩の大地をつくった地球の活動があったからこそできたものであるということがわかりました。まさに、萩焼は萩を象徴する存在であるということを感じることができました。



〔萩焼窯元での研修〕

11月19日(日)には、千石台で選択講座③「萩の農作物はなぜ美味しい」が開催されました。山口県萩農林事務所と千石台出荷組合の方々にご協力いただき、阿武火山群の溶岩台地の一つである千石台で大根がたくさん採れる秘密に迫りました。出荷組合の組合長さんから千石台の農地としての特徴や開拓の歴史、生産者の苦労話などをお聞きしながら、選果場や圃場を見学しました。千石台では、溶岩台地の平らで日当たりが良く、水はけも水持ちも良いという土壌の特徴を最大限に活かせる作物として大根にたどり着いたそうです。収穫体験もさせていただき、最後には組合女性部の方々総出で作っていただいた大根フルコースのお弁当までご馳走になり、火山と大根の深い関係を美味しく学ぶことができました。



〔大地の恵み・大根を手に〕

選択講座では、生産現場の方々の苦労話やこだわりを生の声で聞くことと、それと大地のつながりを考えることを大事にしています。萩ジオマスター講座はまだまだ続きます。今後も楽しみにしてください。

NHK「さわやか自然百景」長門峡の自然 ロケハンと収録

先日、NHK 総合テレビで毎週日曜日、午前7時45分から放送されている『さわやか自然百景』のロケハンと撮影が行われました。ロケハンには10月19日（木）～21日（土）に行われ、撮影は11月5日（日）～14日（火）でした。10月のロケハンの時には紅葉の色づきが始まったところでしたが、11月の撮影には鮮やかな紅葉の光景を撮ることができました。

映像には、秋に色づく紅葉や長門峡の雄大な景色だけでなく、そこに生きる昆虫や植物から鳥類、哺乳類や魚類まで様々なシーンが映し出されました。

また、番組ディレクターの松林明さんは、「祖父（萩出身の日本画家・松林桂月）の長門峡を描いた作品の中に描かれている猿溪瀑布（えんけいばくふ）が自分の中での長門峡で、今回の撮影で様々な長門峡の風景と、実際に猿溪瀑布をこの目で見て、撮影できたことが大変心に残り、長年の想いが遂げられたと思う」と話されていました。そして、このロケハンと撮影には様々な分野の専門家の方々にもご協力をいただき、長門峡の気がつかない場所や貴重なものを撮影することができました。

本放送は12月17日（日）午前7時45分から15分間です。その中には長門峡の魅力がぎっしり詰まっているはずですよ。是非ご覧ください。

（支援員：上利英之）



〔上：撮影の様子、 下：猿溪瀑布〕

ジオ・カメラ散歩



11月1日（水）に「浜崎しっちょる会」の皆さんと浜崎の町並みをジオ散歩しました。江戸時代の町並みが残るこの地域は「砂丘」の上にあります。「吹上（ふきあげ）」という場所は萩城下町で一番海拔が高い場所。地名の通り海風が吹き上げる場所ですが、その風が浜の砂を運んで高い土地を作ったようです。伝統的な町並みに込められた大地と人のつながりが見え面白かったです。



（写真提供：福栄小中学校）

福栄小中学校では10月20日（金）に、地域探訪遠足が実施されました。「ふるさとのひと・こと・ものに学ぶ」活動としての取組。途中で地域にあるジオに関する事物についての説明を地域の方から聞きました。写真は紫雲山を背に歩く参加者たち。

おもしろくなるよ！笠山・越ヶ浜 ―ジオツアーづくり―

推協だより No.29 で報告したワークショップ「日本一おもしろい火山体験ツアーin 笠山をみんなで作ろう！」。地元・越ヶ浜地区の皆さんを中心に、笠山山頂展望台と越ヶ浜介護予防センターでの集会を重ね、少しずつ、方向が定まってきました。展望台グループでは、何を目的にこの地でジオパーク活動をするのかを明らかにし、拠点施設としての機能について考えること、などを話しました。センターに集まる夜の会では、土地にあわせた人の暮らし・文化として、お祭りについて話した後、これからの取り組みをどうしていくのか、ジオストーリーを考えてみることになりました。笠山が噴火してできたからこそ、越ヶ浜という集落はできたんだ、こんなわかりやすい所はない、是非子どもたちに伝えていきたいという参加者の声もありました。次回の会合では、グループ名を決め、さらに結束して活動していくことになりました。今後の活動に期待です。



[左：笠山展望台での研修、
右：介護予防センターでの研修]

ジオパーク・ワンポイント講座④ ジオサイトってなに？

日本のジオパークでは、“ジオパークの見どころ”という意味で、地形や地質はもちろん、植物が生育している場所も、歴史的な建物も、資料館も全部「ジオサイト」という言葉を使ってきました。ところがこれは本来の意味とは違います。「ジオサイト」は“地球の活動がわかる地質や地形がある場所”であり、それ以上でも以下でもありません。地質や地形は「ジオサイト」、生態系は「生態サイト」、文化は「文化サイト」、景色を見る場所は「ビューポイント」、そして施設は施設です。その方がわかりやすいですね。萩ジオパーク構想でも、住民の皆さんとの活動のしやすさを考慮しながら、見直しや整理を進めています。
(ジオパーク専門員：白井孝明)

12月の予定

- 萩ジオマスター講座 (第11回) 12月2日(土) 10:00~13:00 場所：萩シーマート、定員：15名 参加費：1000円、内容：萩の魚はなぜ美味しい 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ・申込み：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 萩ジオマスター講座 (第5回の振替) 12月3日(日) 10:30~16:00 会場：【座学】須佐公民館、【現地】須佐湾周辺、高山ほか 参加費：無料、内容：萩の大地の成り立ち③ (日本海の誕生と火成活動) 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ・申込み：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 日本一おもしろい火山体験ツアーin 笠山をみんなでつくろう 12月6日(水) 13:30~15:00 会場：笠山山頂展望台、内容：笠山展望台の活用をみんなで考える。 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 日本一おもしろい火山体験ツアーin 笠山をみんなでつくろう 12月12日(火) 19:00~20:30 会場：越ヶ浜介護予防センター 内容：笠山・越ヶ浜のジオストーリーを考える。 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 阿武町職員研修「ジオパークによる地域の描き方～阿武町ジオサイト候補の不思議な魅力～(仮題)」 12月19日(火) 18:15~20:00 会場：阿武町役場
- 萩ジオカフェ 12月21日(木) 18:30~20:00 会場：萩市中央公民館講座室(萩市民館)、参加費：200円、申込み：萩ジオパーク構想推進協議会 (0838-21-7765) ※全国のジオパークからお菓子をお取り寄せ。どこのジオパークかは当日までヒミツ。